

各位

会社名 アスクル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 岩田彰一郎
 (コード番号:2678 東証一部)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員 CFO 玉井 継尋
 TEL 03-4330-5130

特別損失（減損損失）の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月期決算において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上し、併せて2019年5月期通期業績予想について修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

2019年5月期決算において、LOHACO専用の物流センターである「ASKUL Value Center 日高（以下、AVC 日高）」に関する固定資産について減損損失3,097百万円を計上することといたしました。

AVC日高は「ASKUL Logi PARK 首都圏（以下、ALP 首都圏）」の火災後に開設した物流センターであり、物流生産性の復元に大きく寄与しております。しかしながら、その後の宅配クライシスに起因する配送運賃値上げ等の事業環境の変化やその他リスク等を踏まえ、LOHACOの事業計画を見直し、AVC日高の固定資産に係る回収可能性を検討した結果、2019年5月期第4四半期において減損損失を計上することといたしました。

2. 通期業績予想の修正について

① 2019年5月期連結業績予想数値の修正（2018年5月21日～2019年5月20日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	390,000	6,000	5,800	3,500	68.66
今回修正予想 (B)	387,000	4,500	4,400	400	7.84
増減額 (B-A)	△3,000	△1,500	△1,400	△3,100	
増減率 (%)	△0.8%	△25.0%	△24.1%	△88.6%	
(ご参考) 前期通期実績 (2018年5月期)	360,445	4,192	3,940	4,693	92.15

② 修正の理由

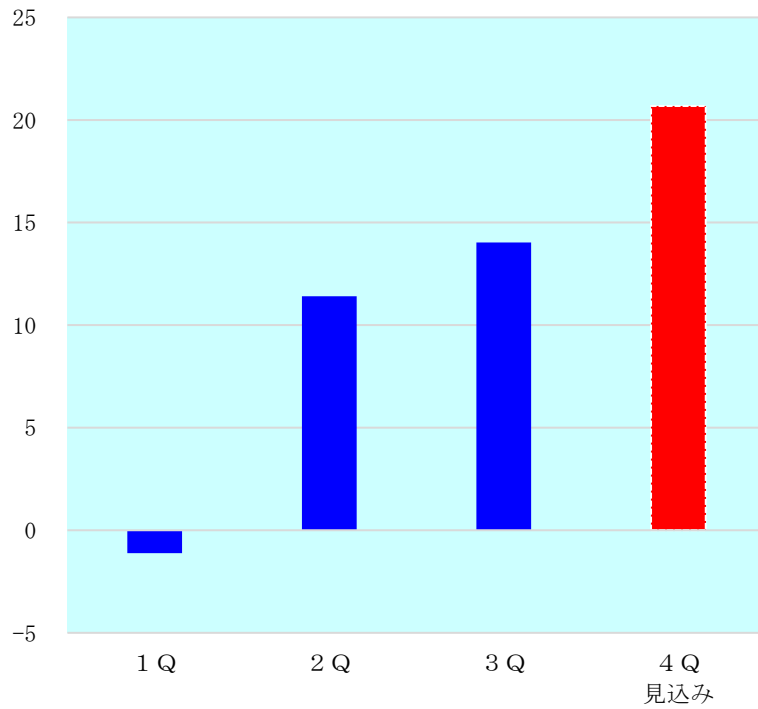
売上高、営業利益、経常利益は増収増益を見込んでおりますが、主にLOHACOの計画未達により、予想数値を修正しております。

加えて、親会社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当期純利益につきましては、上記記載の通り減損損失として3,097百万円の特別損失を計上することから、予想数値を修正しております。

なお、当社はALP首都圏火災や宅配クライシスに起因する配送運賃値上げ等の影響を乗り越え、2019年5月期第2四半期以降は着実に収益力が向上しております。LOHACOは独自価値eコマースへの転換により確実な収益改善を伴う新たな成長に経営の舵を切るとともに、BtoB事業はWEB成長戦略の強化とロングテール商品の拡大により安定的な増収増益となっており、また、減損損失については一過性のものであり、2020年5月期は大幅な増益を見込んでおります。その詳細につきましては、2019年7月3日に予定しております2019年5月期決算発表にて開示いたします。

【参考】2019年5月期 連結営業利益推移（四半期別）

(億円)



※上記に記載した業績予想は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は今後の様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。

以上